

<平均値と標準偏差の一覧>

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	784	2.49	1.36	0.05
悩み2	[学業・授業]	782	1.48	1.26	0.05
悩み3	[留学]	761	0.67	1.21	0.04
悩み4	[心身健康]	781	1.11	1.28	0.05
悩み5	[バイト]	775	0.53	0.94	0.03
悩み6	[経済的問題]	777	1.23	1.35	0.05
悩み7	[対人・友人]	777	0.91	1.13	0.04
悩み8	[課外活動]	773	0.55	0.94	0.03
悩み9	[家族関係]	778	0.43	0.89	0.03
悩み10	[性]	781	0.41	0.91	0.03
悩み11	[恋愛]	778	0.63	1.12	0.04
悩み12	[性格・能力]	778	1.22	1.33	0.05
悩み13	[人生観]	779	1.11	1.33	0.05
悩み14	[ハラスメント]	775	0.21	0.71	0.03

参考：2022年度

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差
悩み1	[進路・就職]	960	2.76	1.35	0.04
悩み2	[学業・授業]	959	1.58	1.33	0.04
悩み3	[留学]	933	0.68	1.24	0.04
悩み4	[心身健康]	959	1.13	1.32	0.04
悩み5	[バイト]	942	0.57	1.02	0.03
悩み6	[経済的問題]	957	1.36	1.36	0.04
悩み7	[対人・友人]	958	1.08	1.28	0.04
悩み8	[課外活動]	941	0.59	1.02	0.03
悩み9	[家族関係]	954	0.49	1.02	0.03
悩み10	[性]	951	0.40	0.94	0.03
悩み11	[恋愛]	953	0.64	1.16	0.04
悩み12	[性格・能力]	954	1.36	1.43	0.05
悩み13	[人生観]	955	1.28	1.44	0.05
悩み14	[ハラスメント]	945	0.17	0.63	0.02

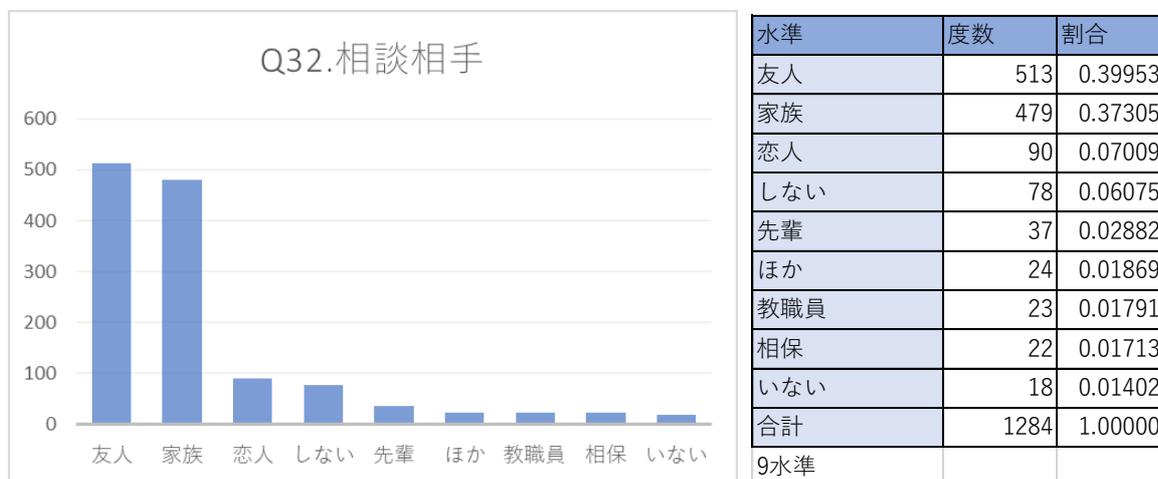
参考：2021年度

	平均	標準偏差
Q30. 悩み1 [進路・就職]	2.99	1.35
Q30. 悩み2 [学業・授業]	1.90	1.39
Q30. 悩み3 [留学]	0.73	1.25
Q30. 悩み4 [心身健康]	1.22	1.39
Q30. 悩み5 [バイト]	0.58	1.02
Q30. 悩み6 [経済的問題]	1.43	1.44
Q30. 悩み7 [対人・友人]	1.12	1.30
Q30. 悩み8 [課外活動]	0.72	1.15
Q30. 悩み9 [家族関係]	0.48	0.98
Q30. 悩み10 [性]	0.46	1.00
Q30. 悩み11 [恋愛]	0.66	1.13
Q30. 悩み12 [性格・能力]	1.42	1.44
Q30. 悩み13 [人生観]	1.35	1.47
Q30. 悩み14 [ハラスメント]	0.20	0.63

昨年度までと同様、「進路・就職」の平均値が格段に高い。かなり差はあるが次は「学業・授業」、「経済的問題」、「性格・能力」、「心身の健康」そして「人生観」と続き、ここまでが平均値 1.0 以上である。その他の項目の平均値は 1.0 未満ではあるが、平均値は低くても、ヒストグラムに示したように、すべての項目において 5（耐え難いほど）と回答している学生が存在していることはきちんと認識しなければならない。学生支援センターでは HP に「困った時/ヘルプが欲しい時」というページを設け (<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/>)、さまざまなチャンネルを通じて学生の支援を試みているが、そのようなチャンネルについてより一層の周知を試みたいと考える。

Q32 不安や悩みを相談している相手は誰ですか(主な相手を 2 つまで)

- ①家族 [家族]
- ②友人 [友人]
- ③恋人 [恋人]
- ④先輩 [先輩]
- ⑤大学の教職員 [教職員]
- ⑥学生相談室・保健室 [相保]
- ⑦相談できるひとがいない [いない]
- ⑧他人には相談しない [しない]
- ⑨その他 [ほか]



相談相手として「友人」が約 40%、「家族」が約 37%と圧倒的に割合が大きい。一方で「教職員」（大学の教職員）と「相保」（学生相談室・保健室）については約 2%程度に留まっている。この結果をみると、学生の相談がしやすい仕組みづくりに関して、より検討していく必要があると考えられる。

学年	友人	家族	しない	恋人	先輩	相保	いない	ほか	教職員
1	40.7%	37.7%	6.7%	5.3%	4.4%	1.6%	1.3%	1.3%	1.1%
2	42.1%	38.5%	5.5%	7.8%	1.0%	1.0%	1.9%	1.3%	1.0%
3	39.5%	38.2%	4.3%	6.9%	3.4%	1.7%	1.3%	3.0%	1.7%
4	35.1%	33.0%	7.3%	11.0%	1.0%	3.1%	1.0%	3.1%	5.2%

「友人」と「家族」の割合については、学年別にみても特段の違いは認められない。しかし、「相保」（学生相談室・保健室）と「教職員」（大学の教職員）については、3・4年生に比べて1・2年生の割合が低いことが指摘できる。

【経済状態・アルバイト】

Q33 学費の金額を最も多く負担しているのは次のどれですか。

- ①保証人（親など） [保証人]
- ②自分 [自分]
- ③奨学金 [奨学金]
- ④祖父母等親族 [親族]
- ⑤その他 [ほか]



水準	度数	割合
保証人	607	0.77522
奨学金	123	0.15709
親族	30	0.03831
自分	20	0.02554
ほか	3	0.00383
合計	783	1.00000
5水準		

最頻値は「保証人」（保証人（親など））で約78%であった。次いで「奨学金」が約16%と続き、合計して約94%を占めている。一方で昨年度と同様に全体の約3%が「自分」であり、学費を自身で支弁している学生がいることがわかる。

Q34 現在の家庭の経済状況はいかがですか。

- ①余裕がある
- ②やや余裕がある
- ③普通
- ④やや苦しい
- ⑤苦しい
- ⑥不明

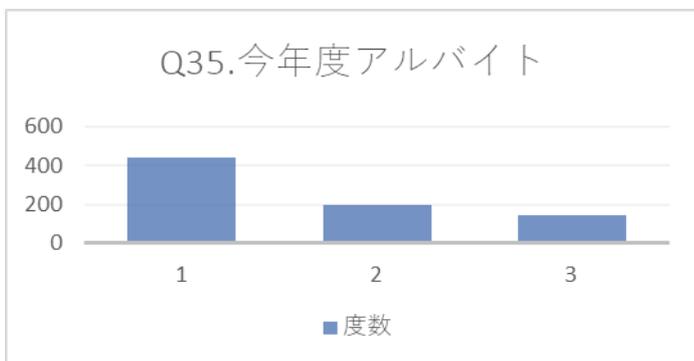


水準	度数	割合
1	74	0.09391
2	60	0.07614
3	391	0.49619
4	154	0.19543
5	66	0.08376
6	43	0.05457
合計	788	1.00000
6水準		

最頻値は3（普通）で約50%である。また、4（やや苦しい）と5（苦しい）をあわせると約28%が経済状況について苦しいと回答していることがわかる。なお、昨年度は、3（普通）は約45%、4（やや苦しい）と5（苦しい）はあわせて約35%であった。コロナ禍が明けたことが影響しているのかもしれない。

Q35 今年度のアルバイトについて選んでください。

- ①常時している／いた
- ②時々している／いた
- ③していない

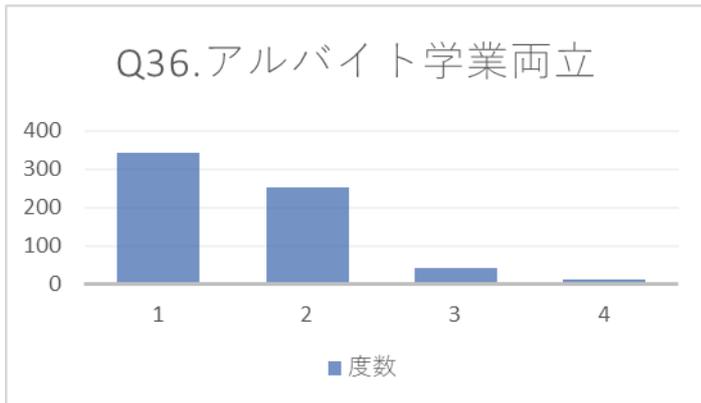


水準	度数	割合
1	439	0.56066
2	197	0.25160
3	147	0.18774
合計	783	1.00000
3水準		

最頻値は1（常時している／いた）で約56%であった。

Q 36 Q35 で①～②を選んだ方は、アルバイトと学業の両立はできていますか。

- ①できている
- ②ある程度できている
- ③あまりできていない
- ④まったくできていない



水準	度数	割合
1	343	0.53096
2	251	0.38854
3	41	0.06347
4	11	0.01703
合計	646	1.00000
4水準		

1（できている）と2（ある程度できている）を合わせると、約92%の学生はアルバイトと学業の両立ができていることが見てとれる。ただし一方で3（あまりできていない）と4（まったくできていない）の割合を合わせると、約8%の学生がアルバイトによって学業に支障をきたしていることがわかる。奨学金などの支援制度の利用促進や、金銭面を理由とした修学継続に関する悩み相談がしやすい仕組みづくりが重要だといえよう。

【休学・退学】

Q37 休学や退学を考えたことがありますか

- ①休学を考えたことがあるが退学を考えたことはない [休]
- ②退学を考えたことがあるが休学を考えたことはない [退]
- ③休学と退学の両方を考えたことがある [休と退]
- ④休学も退学も考えたことがない [ない]



水準	度数	割合
ない	686	0.87056
休	45	0.05711
休と退	29	0.03680
退	28	0.03553
合計	788	1.00000
4水準		

最頻値は「ない」（休学も退学も考えたことがない）で約87%であった。一方で、昨年度（約15%）よりやや減少したものの、全体の約13%の学生が、休学や退学を考えたことがあるとわかる。

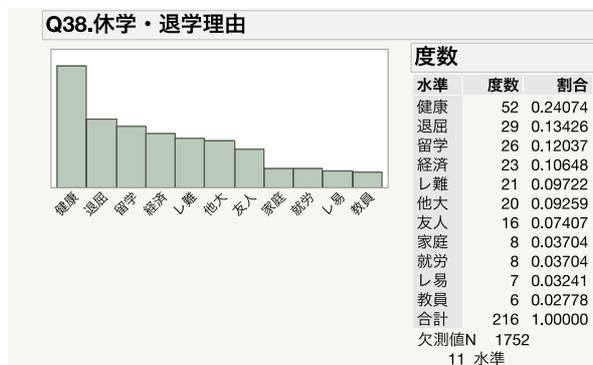
Q38 Q37で①～③を選んだ方は、その理由を教えてください(主なものを2つまで)

- ①授業が難しい／成績が振るわない等 [レ難]
- ②授業が易しすぎる／授業のレベルに不満である等 [レ易]
- ③授業に興味を持ってない／授業がつまらない等 [退屈]
- ④教員とうまくいかない等 [教員]
- ⑤大学で友人関係がうまくいかない等 [友人]
- ⑥経済的事情 [経済]
- ⑦家庭の事情 [家庭]
- ⑧心身の健康面 [健康]
- ⑨留学・ワーキングホリデーのため等 [留学]
- ⑩他大学への入学・入学 [他大]
- ⑪働きたい [就労]

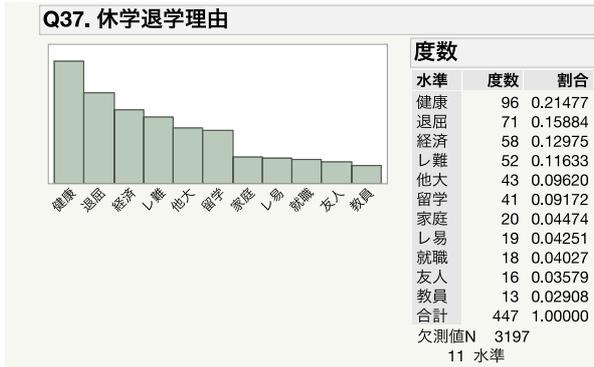


水準	度数	割合
健康	32	0.19632
退屈	28	0.17178
経済	23	0.14110
留学	16	0.09816
レ難	16	0.09816
他大	16	0.09816
友人	10	0.06135
家庭	8	0.04908
就労	6	0.03681
レ易	4	0.02454
教員	4	0.02454
合計	163	1.00000
11水準		

参考：2022 年度



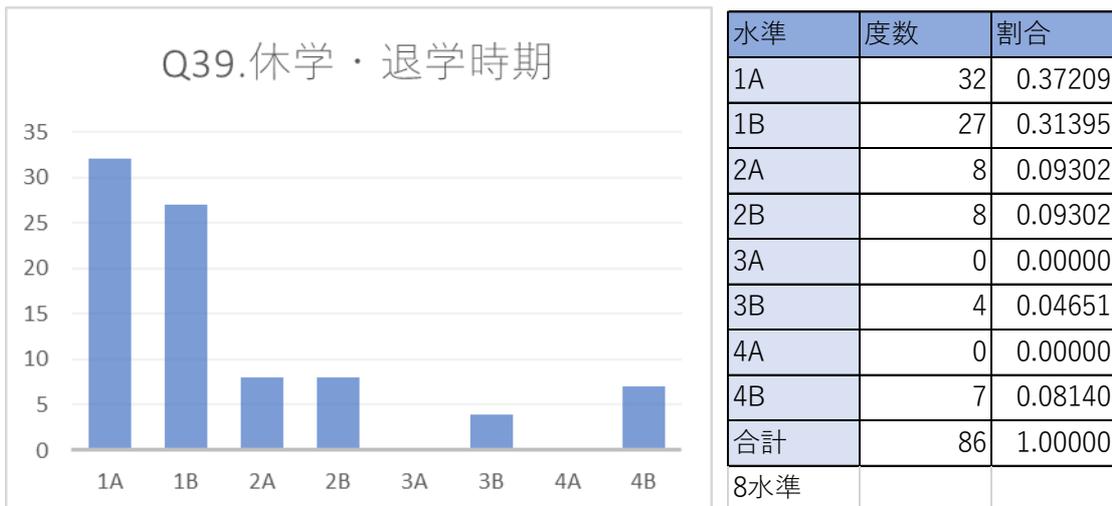
参考：2021 年度



Q37.において、休学や退学を考えたことがあると回答した学生は 102 人であり、回答した人数に対する割合を見てみると、「健康」（心身の健康面）が約 31%であった。次いで「退屈」（授業に興味を持ってない／授業がつまらない等）が約 27%と続いており、昨年度と同じ回答が高率になっている。

Q39 Q37 で①～③を選んだ方は、最初に考え始めた時期はいつ頃ですか。

- ① 1 年次前期（夏休みを含む） [1 A]
- ② 1 年次後期（春休みを含む） [1 B]
- ③ 2 年次前期（夏休みを含む） [2 A]
- ④ 2 年次後期（春休みを含む） [2 B]
- ⑤ 3 年次前期（夏休みを含む） [3 A]
- ⑥ 3 年次後期（春休みを含む） [3 B]
- ⑦ 4 年次前期（夏休みを含む） [4 A]
- ⑧ 4 年次後期（春休みを含む） [4 B]



1 年次の回答の割合が突出して高いことは昨年度も確認できた傾向であり、注意したい。

10. 本学への意見等 [自由記述]

このセクションでは、Q40（本学への意見等）に対する自由記述の結果を報告する。

Q40 本学への意見等、自由に書いてください。

「特にありません」に類するものが12件。それを除いて実質的なコメントを書いたものが167件あった。それらを1件毎に精査し、言及している内容で分類し帰納的にラベル（下位コード）を付与していった。1件の中で複数の内容に言及しているものは複数の下位コードを付与した。類似の内容はひとつの上位コードにまとめた。以下、コード毎に該当件数によって降順にソートして示す。

<全体的な分布>

▼ ●📁 コードシステム	314
> ●📁 施設/設備等について	132
> ●📁 授業について	44
> ●📁 学生へのサポートについて	30
●📁 大学に対する感謝等	22
> ●📁 大学全体の印象について	20
> ●📁 課外活動について	9
●📁 自身の決意・自身に対する戒め	9
●📁 学内システムへの不満・要望	5
●📁 留学について	4
> ●📁 立地について	4
●📁 特定の部局・教職員に係る不満の表明	4
> ●📁 学費・経済面について	4
> ●📁 アンケート調査について	4
●📁 証明書について	3
●📁 友人との関係について	3

昨年度に引き続き、全該当件数 314 のなかで施設／設備についての意見が最も多かった。次いで、授業について、学生へのサポートについての声が多かった。以下、それぞれの上位コードを展開した下位コードの分布を示す。

<施設／設備について>

> ●④ 飲食物施設に関する不満・要望	27
> ●④ スクールバスに関する不満・要望	24
●④ 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	22
●④ Wi-Fi環境に関する不満・要望	15
●④ 施設がよい・満足だ	4
●④ 空調設備・気温調節に関する不満・要望	4
●④ 体育施設に関する不満・要望	3
●④ トイレの設備・備品に関する不満・要望	3
> ●④ キャンパスの広さについて	2
●④ 図書館について	3
●④ 臭気・騒音・照度	2
●④ 学生のマナーについて	2
●④ 喫煙所に関する不満・要望	2
●④ 害虫駆除について	2

飲食物施設に関する不満・要望が最も多く、メニューの内容、施設の混雑、値段に関するコメントが主に寄せられた。

■学食が高カロリーな物が多いので、ヘルシーかつボリュームミーな学食が欲しいです。

■人数が多すぎて昼飯を買うのが一苦勞でした。やってもらえると嬉しいこととして、キッチンカーを6号館側(4号館の橋を渡った方)にもあるともう少し買いやすくなると思います。

■もう少し学食が安くなると嬉しいです。

(原文ママ)

次いで多かったのは、スクールバスに関する意見である。特に、運行本数や混雑、運転手やスタッフの対応に関する声が多かった。また、今年度は、緑山キャンパス行きのバスを運行してほしいとの要望も多く見られた。

■ラッシュ時のスクールバスの本数及びキャパを増やしてください

■学バスの運転が荒い方がいらっしやるので、もっと優しく運転してほしいです。いつも座れるとは限らないので、立っていると耐えるのが非常に辛いです。

■前回の行動/認識調査で、スクールバスに関して警備の方の態度など様々な意見があったようですが、それについて改善されている様子があまりないように感じます。もちろん学生側に非があるような場合も見受けられますが、怒鳴ったり運転が荒かったりというのは度々目にするため、その他の意見も含めて、多くの学生の意見がどれほど学校側に反映されているのか、少々疑問に感じました。

■緑山キャンパスまでの学バスが欲しい！！

(原文ママ)

続いて、施設／設備を新たに使用したい・充実させてほしいという要望が多かった。具体的な内容は以下の通りである。

▼ ●🗳️ 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	21
●🗳️ フリースペース・自習室を充実させてほしい	4
●🗳️ 給水機・給湯器を設置してほしい	3
●🗳️ 駐車場を設置してほしい	2
●🗳️ 電子レンジの数を増やしてほしい	2
●🗳️ 雨や日差しを避ける屋根を設置してほしい	2
●🗳️ 電動キックボードや自転車のレンタルサービスを行ってほしい	1
●🗳️ PCの充電ができる場所がほしい	1

続いて多く見られたのは、Wi-Fi 環境が悪いという意見だった。

■Wi-Fi 環境についてですが、東松山校舎 7・8 号館は問題解決していますという旨の情報がありましたが、Wi-Fi が全然働いていないところもあります。多分使用人数やルーターからの距離の問題だと思うので、そこら辺も少し考慮いただけると助かります。

■学内の Wi-Fi の接続が悪く、携帯料金を増やしてまでわざわざ携帯のギガ数を増やした。

(原文ママ)

<授業について>

▼ ●🗳️ 授業について	0
●🗳️ 授業内容への不満・要望	9
●🗳️ 時間割・単位の設定に関する不満・要望	8
●🗳️ 教員に対する不満・要望	8
●🗳️ 評価への不満・要望	8
●🗳️ 諸々の決定・通知に関する不満・要望	5
●🗳️ 学生の受講態度が悪い	3
●🗳️ デジタル化について	2
●🗳️ 授業に満足している	1

授業については、授業内容への不満・要望の声が最も多かった。具体的なコメントを以下に挙げる。

■グループワークの授業がもっと多くなると良いと思った。

■受講する価値がない授業がいくつか存在します。コロナ禍で撮影した映像授業を流すだけ、低レベルな授業（中学校程度の内容しか取り扱わない）、休講があまりに多すぎる、などです。授業料に相応する有意義な授業を求めます。もちろん、素晴らしい教授もいらっしゃいます。

■書道学科に所属しているが、教員志望のため、一般教養の授業を取り入れて欲しい。教職の授業は、レベルに差があると感じるため、模擬授業などをやる授業は、もっとレベルを上げて欲しい。全体的に、授業のレベルを上げて欲しい。

■留学生と関わる授業や英会話をする授業を増やして欲しい

■オンライン講義を増やしてください

(原文ママ)

グループ活動等を伴う能動的な学びや、授業の難易度に関する要望が寄せられた。また、昨年度に引き続きオンラインの講義を増やしてほしいとの声もあった。

次いで、時間割・単位の設定・履修登録、教員、評価に対する不満・要望が多かった。具体的な記述を以下に示す。

■必修1単位がしんどいです。なんで1単位なんですか？

■法学部も他学部の講義を受講できるようにしてほしい

■履修登録をはじめにやる時に1年間全部登録するだけではなくて前期と後期別々に登録できるようにもなっていたきたいです。

■資格取得のために履修したかった興味があった科目が抽選で受けられなくなり、就職活動で地元に住まいを移すこともあり4年時に履修が不可能で受講することが出来なかった。決まったものが変更できないことに不満はないが、抽選の結果履修できた生徒の中に資格取得の為でもなく、興味もなく、単位の為だけに選んだだけと言っている生徒が居て複雑な気持ちになった。抽選時に資格取得予定者を優先したり、アンケートを取るなど工夫してほしい。学費を払って通っているのに、学びたいことを学べる環境を作ってほしい。

■キャンパス移動に伴う履修について、板橋校舎の全学共通科目がほとんど全く無い状況を改善してほしい。1.2年のうちに東松山校舎での講義を終わらせられるようきっちり分けようと、資格科目含めほぼ限界までの単位を取得したものの、先日3年次の履修を考えた際に学部系統以外に取れる講義があまりにも少なく組み込みに苦労した。

■教授はその分野の専門の方なので、その方が知ってて当たり前という内容を初めてその分野を扱う生徒に対してなんで知らないの？という少し高圧的な態度で来られても困ります。相手は初めて知るかもしれないという配慮をしていただけないでしょうか。

■ * * * 語を履修してるのですが * * * 語の先生がとても分かりづらい説明をするため授業が楽しくないし、覚えられないです。何とかしてください。

■講義終了数分前に来る生徒に対して注意のみのように見えるが、最初からいる人と同じ評価にされているのかと感じ少し意識が低下してしまった気がする。

■授業に対して意見を書かせていただきます。授業の難易度が先生によって違いすぎて、同じ必修なのにこのクラスは単位が取れるかどうか怪しいクラスと授業を受けていれば単位を取れるクラスが存在しています。しかもクラス指定なので取る授業を変えることもできません。せめて必修は同等のレベルで授業をするよう指導していただきたいです。

(原文ママ)

特に、評価に関しては、教員の判断や授業の難易度のばらつきにより、学生の努力や能力が正当に評価されていないのではないかという意見が多く寄せられた。

<学生へのサポートについて>

▼ ●🗨️ 学生へのサポートについて	0
> ●🗨️ 学生へのサポートに関する不満・要望	26
●🗨️ サポート・対応に満足している	4

サポート・対応に満足しているという声があった一方、不満・要望も見られた。具体的な記述を以下に示す。

■せっかく東京にある学芸員資格を取れる学校なので、東博などの博物館のキャンパスメンバーズに入りたいです。

■難関資格の取得する環境を作ってほしい

■大学のダブルスクールはとても良いと思います。宅建や簿記も学べて有意義な時間に来た。IT系の資格はもう1つ上のレベルも開講して欲しい。

■国際交流センターで留学の相談などをする際は予約が必要だったと思いますが、学生支援課のように、予約なしで気軽に相談できる環境だと良いなと思います。

■就職関連のイベント・サポートに関する情報が少なく感じた

■就活に強い不安があり、1年次の夏にキャリアセンターの個人面談を利用したが、「まだ一年だから」という理由で納得するサポートが得られなかった。低年次でも、就活に向けてもっと充実した個々へのサポートが受けられるようにしてほしい。

■PC室や図書館の対応がいつも親切で、助けられています。非常に感謝しています。

■携帯を失くした際、学生支援課の方が親身に対応してくださって、不安が和らぎました。結局帰りのバスで見つかりましたが、その対応はとても嬉しかったです。

(原文ママ)

資格取得や留学、就活に関する相談対応など、学生の活動が活発化しているからこそ生じる意見が多く寄せられたといえる。コメントを真摯に受け止め、対応しなければならないだろう。

<大学に対する感謝等>

大学やスタッフに対する感謝等のコメントが、昨年度までと比べ明らかに増加した。具体的な内容をいくつか引用する。

■朝に登校すると清掃員の方々がいつも念入りに掃除をしてくださっていて、この方々のおかげで快適に学生生活を送れているように思い、感謝の気持ちでいっぱいになります。

■高校生の時から日本語教師になりたくて、それで大東の日本語学科を選びました。無事日本語教師になれました。自分の進路に関係のある資格が取れて大学での学びに満足しています。先生方ご指導ありがとうございました。

■大東文化大学へ入学したことで、多くの経験ができました。また、人間関係にも恵まれ、充実した大学生活を送ることができました。ありがとうございました。

<大学全体の印象について>

▼ ●◎ 大学全体の印象について	0
●◎ 大学に満足だ・入学してよかった	15
●◎ 学力が高い学生が入学する大学であってほしい	2
●◎ 入学時に抱いていたイメージよりよい大学だった	1
●◎ 魅力を発信すべきだ	1
●◎ 本学は学歴に関する社会的評価が低い	1

大学全体に関わるコメントとしては、昨年度に引き続き、「入学して良かった」「充実していた」といった肯定的なコメントが多く見られた一方、「より学力が高い学生が入学する大学であってほしい」、「本学の社会的評価が低いことが不安」とのコメントも確認された。いわゆる「学歴フィルター」に不安や不満を感じている学生が一定数いると考えられる。

■次年度、4年生となりますが、これまで目立ったトラブルもなく、充実した大学生活を送れています。大学の授業のレベルも適しているものであり、それ以外のことにも熱中できる余裕があるので、大東文化大学に入学して本当に良かったと思っています。

■正直、第一志望ではなかったのですが、茶道の体験や留学など以前に経験したことのなかったことに触れることができ、感謝しています。大学生活の中で自分の打ち込めるものが見つかり、満足しています。

■教職員の方々が親身になって寄り添ってくださるとも素敵だ大学だと思います。また、自分自身が大東文化大学に所属できていることを誇りに感じています。母校愛を持って社会人としても精一杯頑張ります。

■東京のキャンパス拡張して、東京メインになって距離近い人が入って学力高い人が入りやすいところになってほしい。友達頭良いやつ多いけど、にがてなヤツほど常識とかが無い。

■正直な話、大東を第1志望にしている学生はほとんどいません。みんな受験落ちてます。だから、諦めてるんです。大東だから就職無理でしょって。入学当初そんな声をたくさん聞きました。学歴フィルターで落とされるし、就職はまだいっか。どうせ大東だし。そんな声を友達から聞く度悲しかったです。世間的にレベルが低く見られてしまうのは仕方ありません。だからといって、将来を諦めるのは違います。まだまだ若い私たちが自分の将来を諦めて、だらけてだらけて目先の幸福だけを追うからいつまで経っても大東の学生のレベルは変わらないんです。だからこそ、大東の学生でもやれるんだぞっていうことを世間に証明するために、私は頑張っていますし、これからも頑張ります。

(原文ママ)

<課外活動について>

▼ ●◎ 課外活動について	0
●◎ 課外活動へのサポートに関する不満・要望	6
●◎ イベントについて	2
●◎ 学外への情報発信について	1

課外活動については特に、大学によるサポートに関する不満・要望の声が多かった。

■サークル活動の広報に力を入れてほしかった。どのサークルがいつどこでやっているのか全くわからなかった。他の大学に比べてもかなり酷く感じた。

■自治会費増やして欲しい。

■来年の入学式のスケジュールに正式に団体発表を組み込んで欲しい。

■キャンパスが変わることもあり難しいとは思いますが、サークル活動をもっと活発にできるような取り組みをして欲しい。

(原文ママ)

<自身の決意・自身に対する戒め>

自分自身の決意表明としては、そのすべてが、気を引き締めて更に努力してゆきたい、といった前向きなものであった。

<学内システムについて>

BIND.note、DB manaba、DB ポータル等の学内システムに関する不満・要望があった。

■出席を全ての講義を bind で統一してほしかった

■バインドノートによる出席確認の際、人数が多い授業ではきちんと登録できないなどの不備が多々ありました。出席日数も成績に関わる場合があるため、改善してほしいです。もしくは、バインドノートに頼らない出席確認に統一してもらえないでしょうか？

■manaba のサーバーを大きくしてください

■マナバのレスポンの機能で出席確認をする先生がいらっしゃいましたが、レスポンの不備はほとんどなかったようなので、レスポんに統一したらどうでしょうか。ただし、マナバ1本になるとアクセスが集中してログインするのに時間がかかってしまうため、結局不備が出てくるのだと思います。そうすると、アナログな方法が一番確実で一番手っ取り早いと思います。

■DB ポータルからの連絡がとてもわかりにくく、重要なメッセージが届いていても気づかないことがあったので、改善していただきたい。

(原文ママ)

<留学について>

留学に関するコメントを引用する。

■奨学金留学制度を初めとする留学制度が他大学よりも整っているところはとても良かった。

(原文ママ)

<立地について>

立地に関する意見も寄せられた。内容は以下の通りである。

▼ ●◎立地について	0
●◎ 4年間同じキャンパスに通学したい	1
●◎ 自宅から遠い	1
●◎ 東武東上線の急行や準急が大学最寄り駅に停車しない	1
●◎ 東松山キャンパスより板橋キャンパスのほうが望ましい	1

<特定の部局・教職員に係る不満の表明>

特定の部局や教職員に関するコメントについては、該当部局がわかる場合には必要に応じて伝達したうえで対応の必要性の有無の判断を仰ぎたい。

<学費・経済面について>

▼ ●◎学費・経済面について	2
●◎ 奨学金制度に満足している	1
●◎ 家計基準が厳しい	1

学費・経済面に関して、昨年度と同様、「奨学金制度に満足している」という意見と、「奨学金の家計基準が厳しい」という意見があった。その他、徴収した学費を適切に使用してほしいとの声もあった。

■今年度は、創立100周年とのことで様々な取り組みがなされていたかと思えます。私自身、100周年の飾り付けやグッズが出たことを本当に嬉しく思いました。しかし、それよりも先にWi-Fiの環境の改善や机・椅子の更新など学内の学習環境が改善がなされるとより嬉しかったです。私は高い学費を払っています。特に私の代(現4年生)は1年から2年の間、在宅で授業となり学校に行くことができませんでした。財源等の詳しいことはわかりませんが、100周年をお祝いすることも大事だと重々承知ですが、もっと学内に目を向けて環境の改善がされると良いのではないかと思います。

■100周年記念の水の販売など無駄なところにお金をかけず、授業で生徒の知見が増えるよう予算を割いてほしいです。

(原文ママ)

<証明書について>

2023年11月に証明書発行機の入替えを行ったことを踏まえたコメントや、証明書のデータ化に関するコメントが寄せられた。また、学割証に関する意見も見られた。

■証明書自動発行機(またはその代わりになるもの)を学内に再設置して頂けないでしょうか。実際に、昨年(学校の自動発行機が撤廃される以前)に就職活動をした経験から、自動発行機の廃止は就活生にとってかなりの負担になるのではないかと思います。理由は以下の通りです。・厳封する書類だと、コンビニ発行が利用できず、毎回の申請が必要。手間と時間がかかる。・郵送だと発行に時間がかかってしまい、急遽必要になったとき(締め切り直前で応募を決めた際など)に間に合わず、諦めざるを得ない状況になってしまうことが考えられる。・学校で発行可能であれば200円で済むところが、コンビニや郵送だと手数料や印刷代、郵送代が上乘せされてしまう。交通費、筆記試験の為の書籍代、消耗品である靴やストッキング代など、出費が多い就活生の負担になる。これから就職活動を行う学生の為にも、負担が少なく証明書が発行できるような環境を整えて頂きたいです。

■証明書をデータで発行しなかった際にデータで発行できず、一度紙に印刷してからスキャナーをかけてデータ化するという二度手間が発生して面倒でした。就職活動の際のESや必要書類をweb上で提出することも普通になっているため、データのまま受け取れるようなデジタル化を進めてほしいです。

■学割証の発行枚数をもっと増やした方がいいと思います。地方から来ている学生もいるので年間10枚は正直いって少なすぎます。4年生は就職活動で地元に戻ることもあると思うのでもっと多く発行できないと金銭的に辛いです。私はこの事を入学してから毎年訴えているのですが何も変わらなかったのもう少し学生の声を汲み取って欲しいです。

(原文ママ)

<友人との関係について>

他の学生との交流の機会がほしい、コロナの影響で友人が少ないとのコメントが寄せられた。

■学生同士の交流がしづらい。

■意見というより、大学への今後の提案で述べさせていただきます。大学で1年から参加できる就活コミュニティを作ってください。

■コロナがなければもっと友人ができたと思うので少し悔しい

(原文ママ)

<アンケート調査について>

本調査について、回答が大学に届いていないのではないかという不安・不満や、設問数が多く負担になっているとのコメントが寄せられた。真摯に受け止め、改善に努めたい。特に前者については、学生の大学に対する信頼に関わる指摘であり、意見の吸い上げに関する要望とも関連して注意が必要だろう。本アンケートの結果について、可能な限り学生の声が反映される方向で働きかけてゆきたい。

以上